
私は多分、もうすぐ死ぬと思います。

ぽふぽふ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私は多分、もうすぐ死ぬと思います。

【Nコード】

N4492BA

【作者名】

ぽふぽふ

【あらすじ】

理由はない。確証もない。でも、多分、もうすぐ死ぬと思う。

ミーちゃんのところに行ってきた。

私はいつ死ぬのかわからない。

いや、まあ、誰だっけいつ死ぬのか分からないけど、私の場合、そのニュアンスが、ちと違う。人は寿命をまっとうするのがベストな死に方だと、なんとなく、そう思っている。事故や病気で突然命が無くなる事もあるわけだし、そういうのは、残念な死に方なのだと、なぜそう思っているか理由は分からないが、そういう思想が人間として当たり前のような環境で生きてきたから、そう思っているのであらうと解釈してほしい。

今日は親友であるミーちゃんの所へ行ってきた。お別れの挨拶に。お世話になった人には極力、きちんと事前にお話しをしておきたいのだ。ミーちゃんも、旦那さんも、最初はびっくりして冗談半分に茶化してきたが、誠心誠意お伝えしたところ、小1時間かけてお伝えしたところ、ちゃんと分かってくれた。さすがミーちゃん。物分りが良い。これが最後になるかもしれないから、デジカメで記念撮影もしてきた。幸い、私にはまだ子供がいない。もしいたとすれば、それはどんなに悲しい事だろう。ミーちゃんの出産予定は半年後だが、それまで生きていられる保証もない。だからお腹の中の子供にも、ちゃんとお別れを告げてきた。名前は、聞かないことにした。

私は、いつ死ぬのかわからない。

でもたぶん、もうすぐ死ぬと思うんだ。

煙草を吸ってみた。

今日は、初めて煙草を吸った。周りの友達や同僚がおいしそうに吸っていたけど、私は今までに一度も吸う事はなかった。吸えばやめられなくなると思ってたし、そうなれば定期的に煙草を買わなくてはいけない。煙草は酒と違い、100害あって1利なしだと、吸う人は私に言い聞かせた。だから、吸うなど。健康と金が無くなるだけだと。そういう負のスパイラルに迷い込んだ先人の知恵を聞き、吸わなかったわけじゃないのだが、とりあえず、今までに吸うことはなかった。

でも、死ぬまでに、1度くらいは吸ってみたいと思ってた。

だから、吸った。

全然おいしくない。口の中が、超にがいし、頭ふらふらするし。友達が昔吸っていた煙草をなんとなく覚えていたので、それを買ったのだが、こんなのを毎日吸うなんて、罰ゲームの領域だろ。頼まれたって吸わない。でもまあ、貴重な経験ができた。近くの公園に住んでいるオジサンにあげることにした。オジサンは黙って、お返しのもりであるうか、はがきサイズの謎のちぎり絵をくれた。貼り方が汚すぎて何を表現しているか全くわからないが、裸の大將にも憧れているのだろう。私の遺品が一つ増えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4492ba/>

私は多分、もうすぐ死ぬと思います。

2012年1月13日01時47分発行